

女神に

異世界召喚で

無双

しないかと誘われたけど

断ったら

身体で

言っ事聞かされちゃいました…

はらへら
hara hera

R18

…あれ
ここどこだ？

家で寝たはずだよな

だ、誰!?

私は女神ルナ
君をここに召喚した者だ

うわっ
床冷たっ!
床冷たっ!

なんで俺裸なんだ?!

よく来たな
葉山ソウジ

!?

召喚……？

えっ？

これ夢……？

小説の書き過ぎで
こんな夢見てるのか？

ちょっと困った事が
あって助けてほしいくてな

適性のある君を
こちらに呼び出したんだ

私の管理している
世界が最近
荒れていてな

夢じゃない……？

君にはそこへ行って
私の授けた力を使って
世界を正して欲しい

えっと……それって
俺が異世界に行って
悪者退治みたいなの……？

うむ、流石に
察しが良いな

君、そういうの好き
だろ、小説書いていた位だし

現実から異世界に
召喚されてチート能力
で無双する……

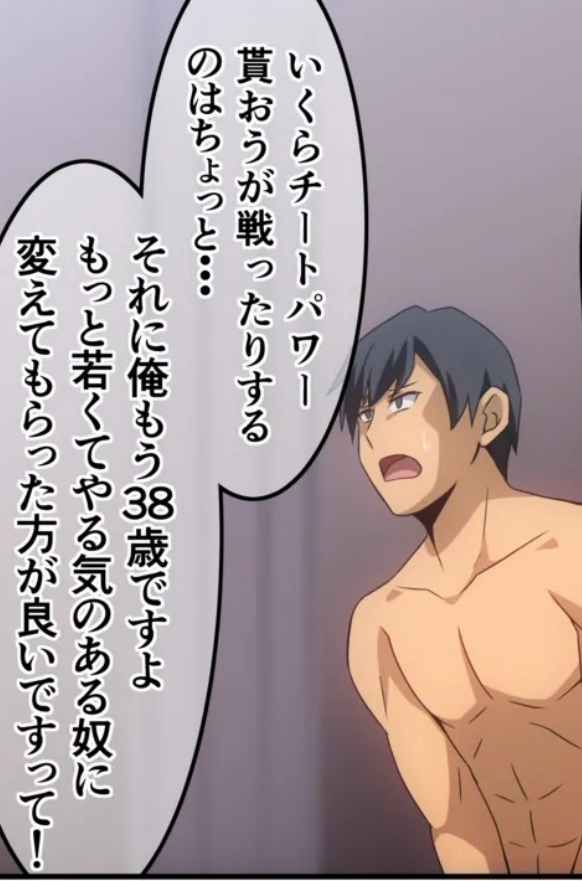
夢が叶ってよかった……

お断りします



…何故だ？

いや俺今書いてる小説
書籍化もアニメ化もして
充実した毎日送ってるんです



いくらチートパワー
貰おうが戦ったりする
のはちよっと…

それに俺もう38歳ですよ
もっと若くてやる気のある奴に
変えてもらった方が良いでしょう！



それに実際経験すれば
もっとリアリティのある
話を書ける様になる
かもしれんぞ

それは、まあ…でも
その間ファンの人達
待たせるの申し訳無い
しなあ…



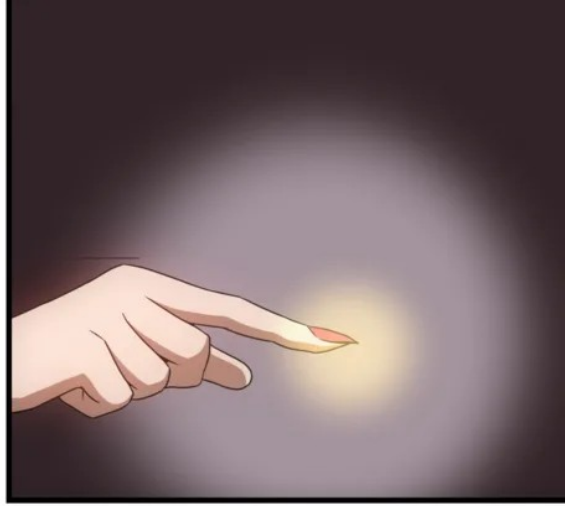
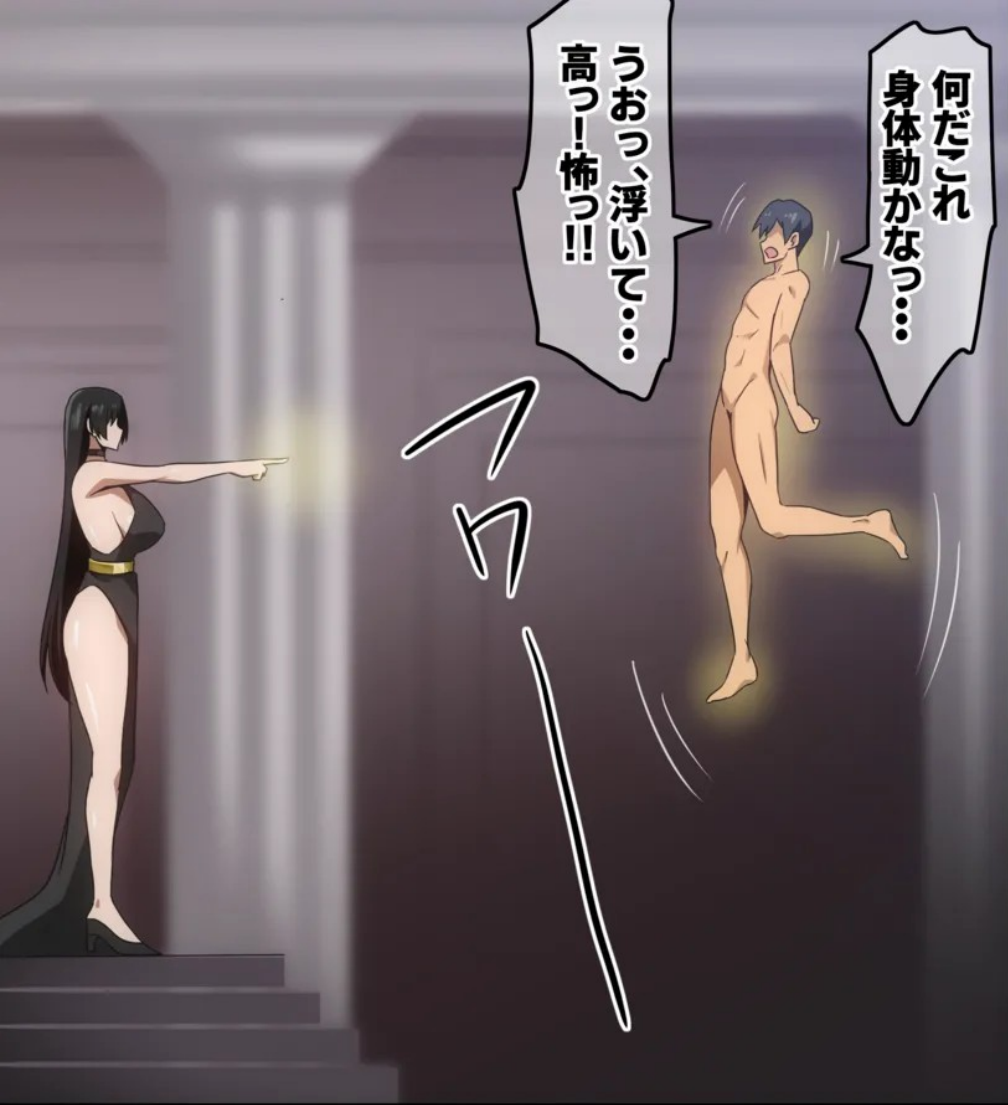
適正のある者しか
ダメだと言ったろう
それにお前はそういう
方面の知識もあるから
説明の手間も省けて
助かるんだ

こういう状況でいきなり
ステータスウィンドウ開けと
言われてもすぐ分かるだろ

ま、まあ
そうっすね…



ふん、あと二押し
と言った所だな…





確かお前は
女性経験が無かったな



どうだ?
女性の身体は
柔らかいだろう?



だが向こうへ行けば
彼女などいくらでも
出来るぞ

強い男に女は
惹かれるからな

い、今更
彼女なんて...



女を知らないから
そんな事が言えるんだ



小さい頃から人付き合い
が苦手で学校のクラスで孤立...

ゲームとアニメが
唯一の楽しみで社会人
になっても彼女など出来ない

もう最初から自分に
彼女などと諦めている

や、やめよう...

私が今から
教えてやろう

肉の快楽を頭の芯まで
しみ込ませて二度と
忘れない様にしてやる



ニ
ル
〇〇〇

そうすれば向こうは
お前にとって天国の様
になるだろうさ……

うお……
すげえ……

フリン

フリン

ムク

ムクッ

ザッ









あ…あがつ…

駄目っ…だ…



ひあ…



うおおっ!!

と止まらないっ!!



精力も強化…と



おっと、いかんいかん
身体は強化されても
精力は別だった

出す力が強すぎて
中身が空になって
しまった

身体強化と
精力は別なのか…



では本番だ
覚悟は良いか?



どうだ?
もう何度でも
精液出せそうだろう?

ああっ…でもこれ頭が
おかしくなりそっ…



動くぞ…

ぬいっ
いっ
いっ

皮が余らない位パンパンに
膨れ上がってるせいでヒダが
全部引つかかって…!!

ぐちゅー

ぷるるん

し、刺激が強すぎる

うおおっ!?

ぞわ
ぞわ

あああ…
カリ首が全部
掻き出さつてくる…

ぐっ

ぐっ

抜くだけで
気をやりそうだ…

ず
ず
ず

ふっ!!

ずいっ
う

んおっ!!



ああああ…♡

あへっ…♡♡♡♡

ずるっー

ふるっ

ふるっ

ずるっ

ずるっ



良いぞ出せ出せ
さっきみたいに
勢い良く私の子宮に
ぶちまける!!

ほらっー

ほらっ!!

あへっ
ふるっ

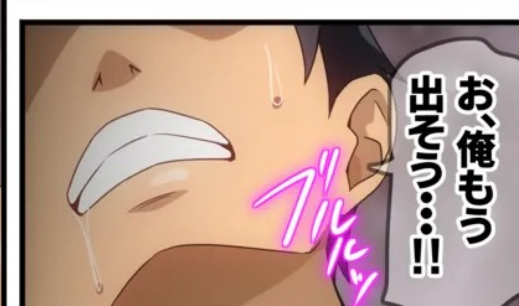
あへっ
いくっ…イクッ!!



女神の私が人のモノで
イカされそうだよ♡

ずるっ

いっせー…いっせー!!



お、俺もっ
出さっ…!!

ふるっ



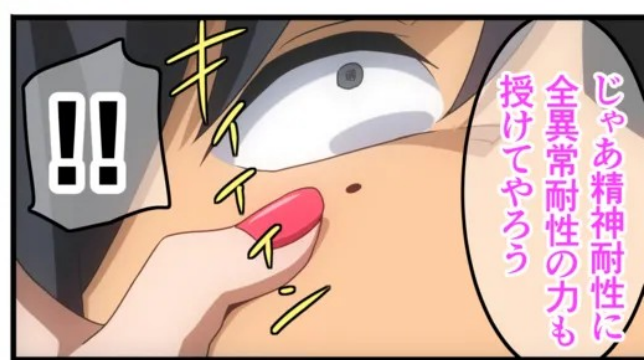


さあ、続きだ



き...気持ち良すぎて頭がおかしくなりそう...

く、狂っ...!!



じゃあ精神耐性に全異常耐性の力も授けてやろう

!!



んんう~~~~♡♡♡

わろお

わろお

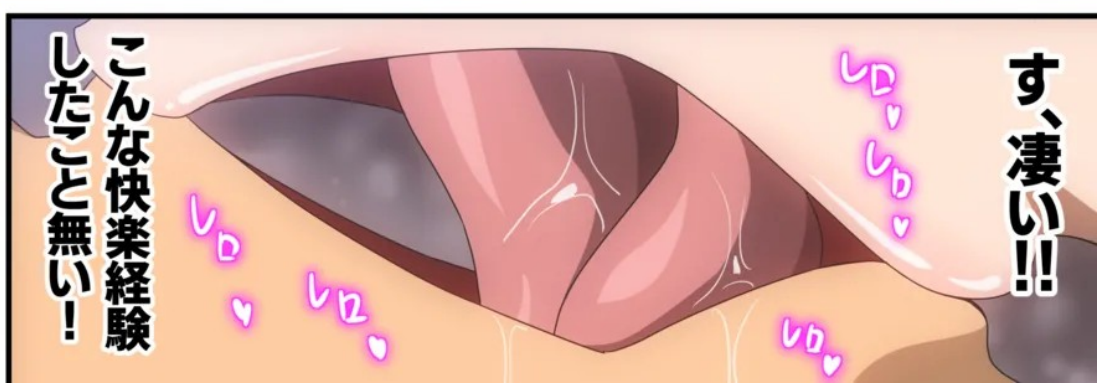
んんう♡

~~~~

んんう♡♡♡



ああああ...



す、凄い!!

こんな快樂経験したこと無い!







んんんん♡♡♡♡

チュ♡

チュ♡

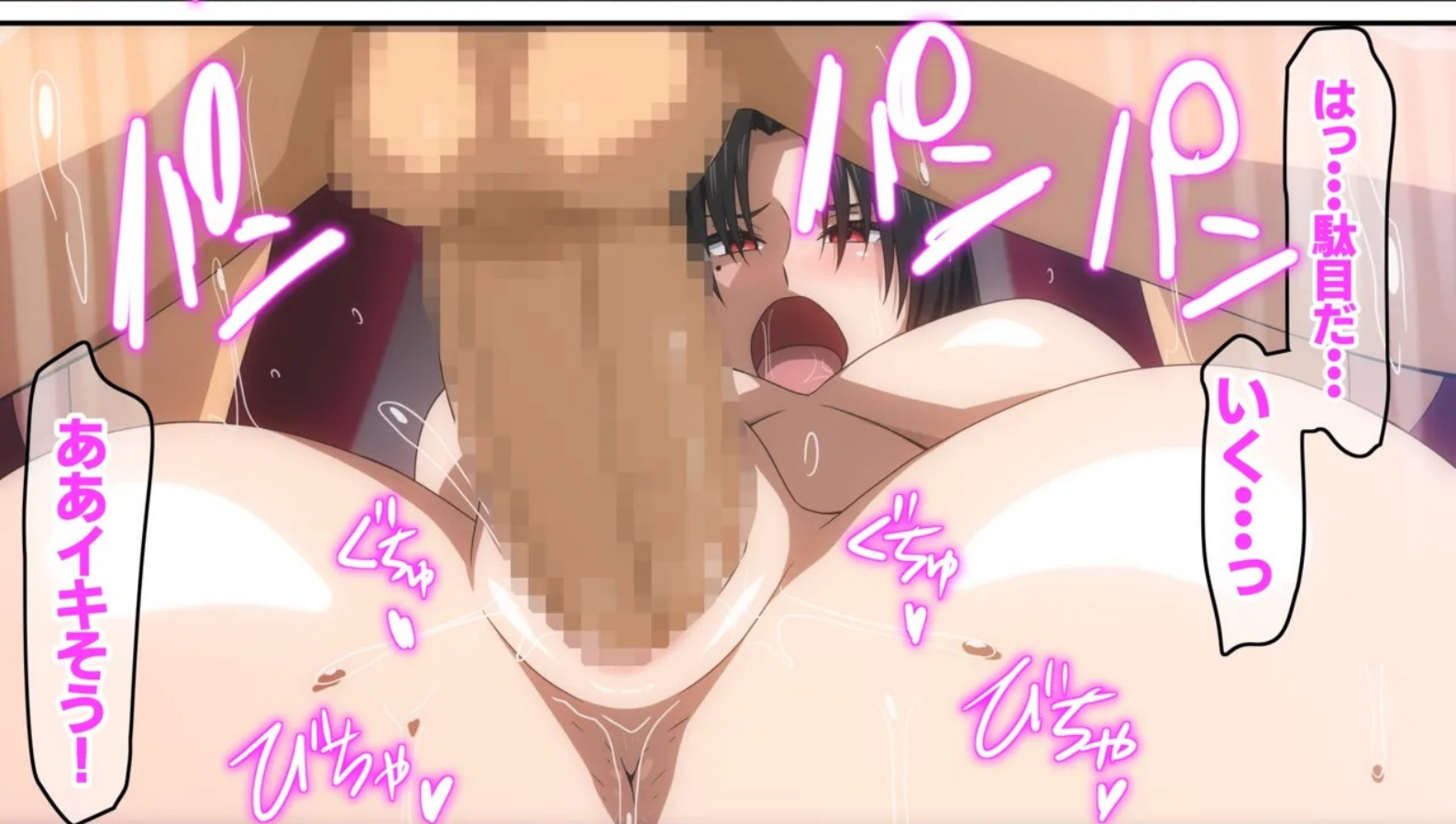
チュ♡

ん♡

パン♡

パン♡

パン♡



パン♡

パン♡

パン♡

はっ…駄目だ…

いく…っ

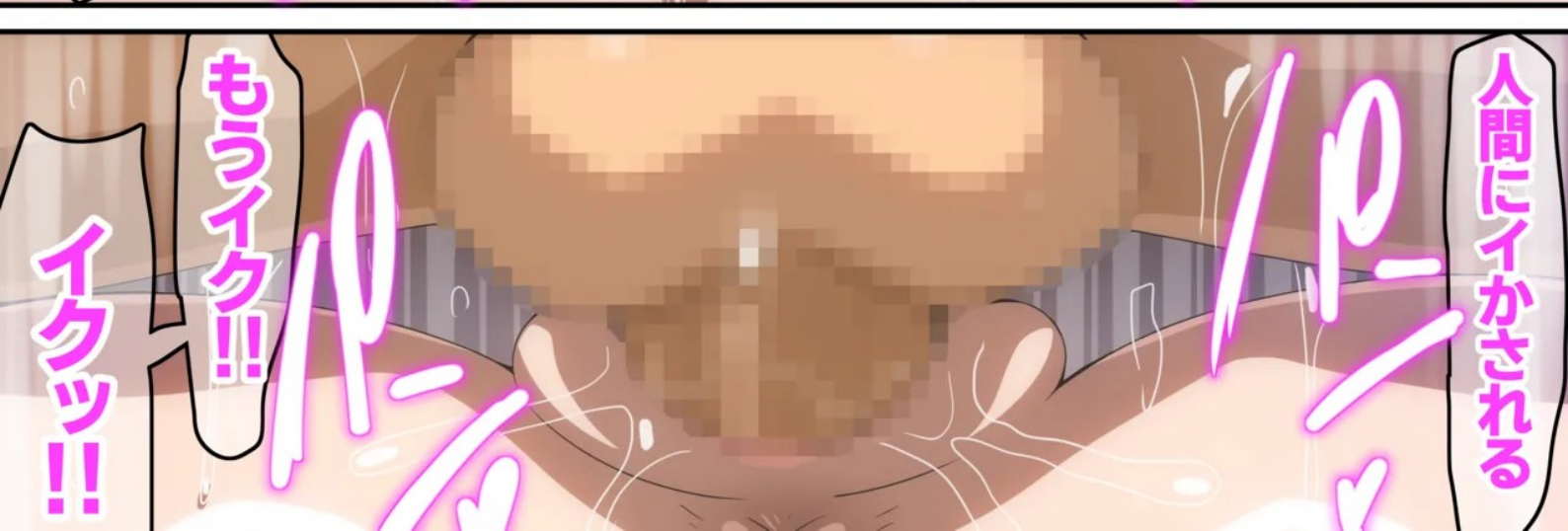
ああイキそう！

びちゃ♡

びちゃ♡

びちゃ♡

びちゃ♡



もうイク！！

イクッ！！

パン♡

パン♡

人間にイカされる



3回目なのに凄い量…

うっふん♡

ん♡

出すたびにとんでもない  
快楽が押し寄せてくる

頭が何回も飛んだ  
感覚がある

それでも正気なのは  
強化されたからなの  
だろうか

ああでもこれは  
病みつきになる！

あはっ…  
まだ…出来るかっ

ビクッ♡

ビクッ♡

♡ちゅ♡

♡ちゅ♡

♡ちゅ♡

もっとこの快楽を

味わい尽くしたい！！

その後も俺は  
女神を抱き続けた

♡ん♡

♡ん♡

♡ん♡

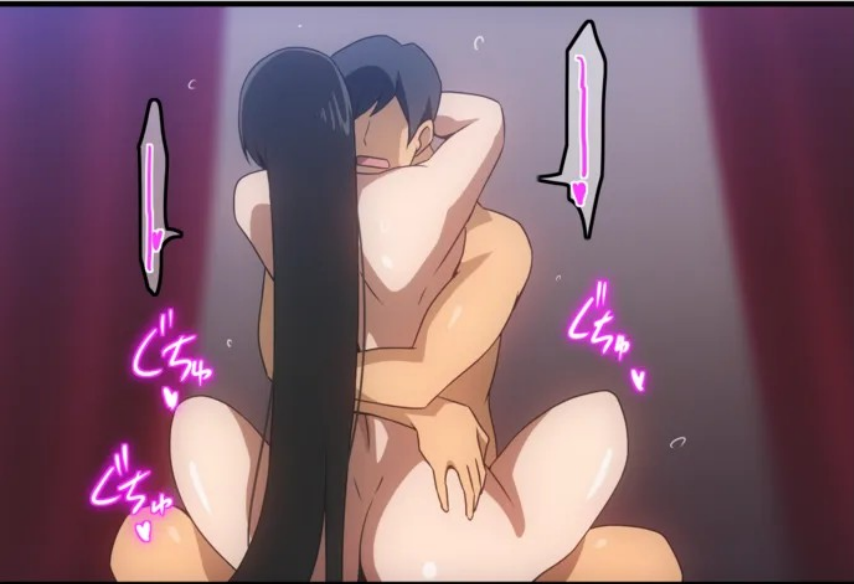
♡ん♡

お互い無尽蔵の精力  
終わりの見えない  
快楽地獄だった



ふふ、まさか人間が  
私をここまで楽しませるとは  
思わなかったぞ

何か褒美を  
やらんとなあ



気を良くしたのか  
女神は行為の最中も  
俺に力を与え続け…

ほれ、受け取れ



終わる頃には  
俺に身体のおくろの数  
は10になっていた…

嬉しいぞ私の願いを  
聞いてくれて

……まあ  
あれだけやって断るの  
もアレですし……

体中ほくろだらけに  
なってしまった……

……それで俺は  
向こうで何を  
すれば良いんです？

狩りだよ

あちら側には昔  
お前同様私が力を授けた  
者が何人かいたんだが

そいつらの子孫の中から  
その力を使って好き放題  
暴れまわる奴らが現れてしまった

流石に目に余る様に  
なって来たからお前に  
狩ってきて欲しい

お前に与えた能力の中に  
私の力を好きに委譲できる  
権限を与えたからそれを使え

狩りって…

安心しろお前に与えた  
力はかなりのものだ  
向こうの奴じゃ  
相手にもならんよ

やる気になれば  
すぐ終わる仕事だ  
まあ気楽にやってくれ

す、スマホ…

テレパシーとか  
じゃないんだ…

ほれ、お前のスマホだ  
私と会話できる様に  
しておいた

フワ  
何か分からない事が  
あったら聞いてくれ

説明は終わりだ  
そのゲートから  
異世界へ行ける  
準備は良いか？

ワオ、

うおっ…

うおっ…  
なんか怖いなあ…

オオオ

異世界で無双か…  
若い頃は憧れていたが  
まさかこの歳で現実にな  
るとは…

まあここまで来たら  
なる様になれた！

それに…

それじゃあ  
行ってきます…

ああ、  
楽しんでおいで



さっきの行為が  
頭に焼き付いて離れない

俺は女神の言った通り  
肉の快楽を忘れられなく  
なってしまったのだ

またあれを味わいたい  
思いで俺は異世界へ  
旅立った



